

## 水道料の値上げに反対する要望書

2011年（平成23年）の4月から斐伊川水道事業（尾原受水）が始まります。

尾原受水により、松江市の負担は、毎年約7億4千万円にもものぼる予定であり、大幅な水道料金の値上げが心配されております。

尾原受水の最大の問題は、使わない水まで市民の負担となることです。尾原ダムの水の使用率は約6割しかなく、4割の水は使われません。この点で積算根拠を誤った県としての責任は免れません。

松江市の水道料金は、県庁所在地で全国9位の高さであり、平成21年度の給水停止実施件数は、807件にも及んでいます。

旅館業やクリーニング店、住民から「これ以上の負担には耐えられない」「需要予測を誤ったツケを住民に押し付けるべきではない」との声が出されています。

住民に「高い水」を押し付けないために、下記の事項を要望します。



### 要望事項

1. 県は、水需要予測を見誤った責任を認めること。
2. 県は、水道料金の引き下げに努めること。

氏 名	住 所